



つなご~る作戦
『第3回キッズフェスティバル開催!』



2回目登場の吉岡です!!
3月から準備を重ねていた、つなGirl主催のイベント“第3回 キッズフェスティバル”を10月22日(土)に無事開催することができました。
キッズフェスティバルは、尼崎市内で活動している様々な団体や大学、尼崎市の魅力について知ってもらい、今まで関わったことのない人とつながってもらうことを目的としたイベントです。参加してくれる子どもたちがこのイベントを通じて、自分の住むまちについて興味を持つきっかけになればと思います。
ブースは地域から5団体、学内から7団体の協力をいただき、計12ブース開くことができました。また学生スタッフとして、児童教育学科から4名、けやき遊歩クラブさんから7名の方がお手伝いをしてくれて、とても助かりました! 様々な人の支えがあ

り、241人もの方がキッズフェスティバルに参加する大きなイベントとなりました。参加者の方の「楽しかった!」「来年も来る!」の一言や、笑顔を見ることができ、とても嬉しく、いっぱい元気をもらいました。
1つのイベントを企画から運営までやり遂げることができ、つなGirl内でもさらに絆が深まったと感じています。特に今回は、つなGirlが別のイベントで関わった人が会いに来てくれたり、3年目の開催ということで、参加者の方から「去年参加したから今年も来たよ」という声を聞くことができたりしました。人と人とのつながりや、毎年イベントを続けていく大切さを学びました。今回の経験や学びを、次に活かせるようこれからも頑張っていきたいと思えます。
最後になりましたが、キッズフェスティバルにご協力・ご参加していただいたみなさまありがとうございました!!

つながりプロジェクト 2016 最終報告会

2/11 (sat)
9:00~17:30
園田学園女子大学
1号館 4F
大講義室

No. 12
2016.Dec



〈地域〉と〈大学〉をつなぐ
経験値教育プログラム



Newsletter

園田学園女子大学
園田学園女子大学短期大学部
地域連携推進機構
〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1
TEL: 06-6429-9921 FAX: 06-6422-8523
E-mail: chiikirenkei@sonoda-u.ac.jp



「スイーツの街 あまがさき」

Super Sweets 2016 in Amagasaki

Super Sweets 2016 in Amagasakiとは、市内のパティシエの方々が中心となり、各種イベントを開催する事業です。尼崎商工会議所が実行委員会を主催し、「スイーツの街 あまがさきをPRすることで、尼崎都市イメージの刷新に貢献し、子供達に尼崎を愛する気持ちを育ててもらい、地元への愛着を生む事に加え、地域活性化に貢献する」を事業主旨に挙げています。
短期大学部生活文化学科 国際食文化コース(現 製菓クリエイトコース)では、4年前より学生ボランティアとして参加しています。昨年は本学の製菓実習室で尼崎市内の小学生を対象にお菓子教室を開き、パティシエの方々と一緒に大きなお菓子の家を作りました。学生達は補助と言う形で参加し、子供達と賑やかな楽しい時間を過ごしました。
本年度は、尼崎市市制100周年ということで大きなイベントを開催することとなり、10月1日(土)、都ホテルニューアルカイクの宴会場にて、ケーキ教室と有名パティシエ参加のトークショーを行いました。前評判も良く、ケーキ教室・トークショーともに抽選になるほど参加希望者が多かったようです。
最初の打ち合わせでは緊張して顔がこわばっていた学生達も、次第にパティシエの方々と打ちとけ、笑顔が見られるようになり、和やかな雰囲気でのケーキ教室となりました。最後にパティシエの方々から「無駄がなく、よく考えて動いていた」「子供達に対する気配りが出来ていて、こちらが助けられた」というお褒めの言葉を頂きました。
ショーではデザート盛りつけ作業をさせていただきました。

パティシエの方々から指導を受け、手を震わせながらチョコレートを飾りつける作業は、普段の実習では味わえない緊張感があり、貴重な体験となりました。
イベントは大盛況の内に終了し、お客さんは大変満足して帰られ、学生達も一安心だったようです。緊張が解れたのか、終了後はTVで活躍されているパティシエの方々と写真を撮ったり、歓談したりとリラックスした様子でした。
今回のボランティアは、学生にとってイベント補助活動だけでなく、地域のパティシエの方々との交流の場でもありました。就職状況や仕事内容など熱心に質問する学生に対し、親切丁寧に対応していただき、非常に有意義な時間であったと思います。地域貢献ができ、学生達も成長できる素晴らしいイベントでした。

短期大学部生活文化学科製菓クリエイトコース 木原禎希



地域志向科目「つながりプロジェクト⑦」
『運動を活用した健康に暮らせる街づくり』

この授業では各学科の2年生が、尼崎市立総合老人福祉センター、健康あま体操絆、猪名寺老人会、中難波はなみずき会の皆様と地域で運動をしながら交流を深めています。

現在取り組んでいる運動は、平成26年度～27年度にかけて作成・検証したPAPER PLANE運動で、それには、オリジナル音楽に合わせて楽しむリズム運動とレップバンドを使用した筋力運動の2種類があります。その運動実施の前には、学生企画による「みんなで楽しむ脳トレ」も実施しています。

そして、この運動をもっと尼崎市の方々に親しんでもらいたいという思いから、～人つむぎ尼つむぎ～と称し、健康あま体操絆のメンバー、社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会、本プロジェクト学生が合同で新しいリズム運動を2つ考案しました。その楽曲はオリジナルで、地域の方々から学生へ、学生から地域の方々へのメッセージソングとなっています。

平成28年度本学学祭では、今まで取り組んできたPAPER PLANE運動(リズム運動編)と新しいリズム運動をステージで披露しました。それには、尼崎市立総合老人福祉センター筋力アップ運動メンバー18名、健康あま体操絆メンバー18名、社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会スタッフ4名、本プロジェクト学生5名、人間看護学科2年生2名・卒業生3名、バンド紡ぎ家4名、教員2名で出演しました。出演前には、出演者一同が集まり、自己紹介・合同練習をしました。その中で、皆様からこの運動に対する思いや、この運動を通じた人との出会いへの感謝の気持ちをお聴きし、出演者全員で心豊かな時間と場を共有することができました。出演前には全員で円陣を組みより一層人と人が紡がれたような気がしました。

学祭出演は、更なる地域の方々と学生の交流や日頃の運動成果発表の場となり、出演後、「楽しかった」「また出たい」という声を聴くことができました。

つながりプロジェクト⑦ 担当：林谷啓美 藤澤政美



地域志向科目「つながりプロジェクト⑩」
『長期・短期留学生との交流を通じて異文化理解を深める』

普段当たり前のように考え、行動していることが、異文化と接触することで、改めて私たちの生活や、行動について考え直す良い契機となります。

現在、本学には学術提携校から4名の交換留学生(台湾、韓国、インドネシア出身)が来学して、日本語を学んでいます。つながりプロジェクト⑩の授業では、その4名(前期は2名)と共に学習をしています。例えば、留学生たちが来日前に想像していた日本と、実際に来日して感じたことを本学の学生に提案し、それについて討議をしています。また、他の外国からの訪問者に対して、どのように対応すれば、日本をそして尼崎をより良く理解してもらえるかも議論しています。その結果、外国の人に日本人の行動はそのように映るのかと驚いたり、笑いがあったり、互いに良い刺激になっています。

授業を進める中で面白かったことは、「外国」という言葉からどの国を想像するか、という質問に、本学の学生のみならず、留学生も、「外国＝アメリカ＝言語は英語」と答えたことでした。このことは、決して全アジアの人の考え方という訳ではありませんが、期せずして同じ答えとなったことに、正直講義者にとっては驚きでした。本学の学生にとり留学生を鏡として「日本、日本文化」について考えることは良い機会ですし、留学生たちが流暢に日本語を話すこと、まして非漢字圏からきたインドネシアの留学生が漢字を読んだり、書いたりできることに感嘆の声を上げるとともに、留学生は四人とも英語もある程度話せることを知るにつけ、外国語に対して再考する良い機会となったとも感じています。日本人は人前で話すときに、はにかんだり、恥ずかしがったりすることも同じアジアの人間として同じだということも知ることができましたし、アジア(といっても僅か3ヶ国ですが)のことを身近に感じるようになっていきたいと思います。

つながりプロジェクト⑩ 担当：村端慶治



地域志向科目「つながりプロジェクト⑮」
『100年の森づくりから生物多様性で遊ぶプログラムをつくる』



尼崎市の臨海部にある「尼崎の森中央緑地」では、29haもの埋め立て地を生き物いっぱいの森にするための森づくりが行われています。自然環境に乏しい臨海部に於いて、この若い森は環境学習の拠点としても活用されています。

今回のプロジェクトでは、中央緑地のパークセンターを利用し、生物多様性を学ぶ環境学習イベントを企画運営することを目的としました。まずは中央緑地の子供向けイベントに何回も参加し、その体験をもとに自分たちで次のような幼児向けのイベントを企画し、10月30日に開催しました。

プログラム内容

- ① ドングリの絵本を人形紙芝居にする。
- ② 森でとれた木の実や木端、葉を使って、クラフトをする。
- ③ いろいろな動物の声を使って、体を動かす歌遊び。

生き物のふしぎや楽しさに目を向け、静と動を組み合わせたバランスの良いプログラム構成を企画できたと思います。

10月30日はお天気にも恵まれ、約30名の親子と一緒に、プログラムを実施しました。子供たちは3つのグループに分かれ、3つのプログラムを順番に回って楽しみました。実際に親子を前にすると、最初は非常に緊張した表情の学生が多く、それにつられてか子どもも緊張して、中々盛り上がらない状況に四苦八苦している様子がうかがえました。しかし、ローテーションで回数を重ねると、リラックスした笑顔で子供たちに話しかけたり、個別に応じた声掛けをしたりと、わずかな時間の間に見違えるほどの対応ができるようになっていました。子どもたちとも打ち解け、学生の膝に乗って遊ぶ子もいました。

アンケートの結果、普段できない体験ができた、対応がとてもよかった、など大変良い評価をたくさんいただきました。

自分たちが考えたプログラムを緊張を乗り越えて実施し、子どもたちが楽しそうに取り組んでくれたことは、良い自信につながったのではないかと思います。

つながりプロジェクト⑮ 担当：石丸京子

地域志向科目「つながりプロジェクト③」
『地域資源を活用した安心・安全まちづくり』

この授業では、「地域資源を活用した安心・安全まちづくり」をテーマに尼崎市立園田北小学校区の猪名寺自治会・南清水自治会と連携して、プロジェクト活動を進めています。両自治会では、高齢化が進むなか、自治会を超えた広域のコミュニティをつくり、様々な世代が支えあうまちづくりを進めておられます。昨年度には「あすのまち・くらしづくり活動賞」(公益財団法人あしたの日本を創る協会)や「第8回 ゆめづくりまちづくり賞 優秀賞」(国土交通省近畿地方整備局)を受賞され、活発な活動を推進してこられました、これまでも本学の学生が様々な行事に参加させていただきました。

今年度は、防災を柱としたまちづくりを一年の目標に定められました。そこで、本授業の学生企画による「子ども防災フェスティバル」もその一環として、2019年1月14日に開催することになりました。4月に猪名寺自治会長の内田大造さんから自治会の課題とこれまでの取り組みのお話を聞き、5月に地域を案内していただきました。安心・安全なまちづくりを学び、7月には地域の方々に集まっていただき、ワークショップ形式で地域の課題を考えました。8月にはそれぞれの自治会の方々とまち歩きを行い、危険箇所を発見し、地図に書き込み、防災マップを作成しました。猪名寺自治会の回には、園田北小学校の児童も参加してくれました。これらの取り組みを通して、尼崎市立園田北小学校区は過去に大きな災害を経験していないことから、防災意識が薄いことがわかりました。

10月から、防災教育に関係したゲーム(クロスロードゲーム、シャッフルゲーム、フューチャーゲーム)を体験しながら学び、当日の企画を練っているところです。今回は、兵庫県立尼崎稲園高校、尼崎市立園田中学校の生徒会も参加することになり、プロジェクトの学生がリーダーとなり、子どもたちに災害時の対応を通じて、日常生活の地域のつながりの大切さをどのように伝えることができるのか、楽しみながら学べるフェスティバルをめざしています。

つながりプロジェクト③ 担当：大江篤 野呂千鶴子 山本起世子

